

# 東洋陶磁学会 2013年(平成25年)度 事業報告

## 総会

日時 平成25年6月1日(土)午後1時～

会場 根津美術館 講堂

特別報告『世界の陶磁史研究動向』

「韓国国立中央博物館における翡色青磁展と国際シンポジウム」伊藤郁太郎

「定窯研究の最前線—故宮博物院、北京芸術博物館の定窯白磁展とシンポジウム参加報告」小林 仁

「イタリア・ファエンツァをめぐる近年の現代陶芸事情—グェッリーノ・トラモンティ回顧展と国際陶芸展ほか」

唐澤昌宏

## 大会(参加者:62名)

日時:平成25年10月19日(土)・20日(日)

会場:茨城県陶芸美術館(茨城県笠間市笠間2345)

テーマ:現代陶芸の形成と理論:産業と表現—笠間を事例に、震災にも触れて

### 日程

10月19日(土)午後1時開会

- ・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 大橋 康二
- ・基調講演「現代陶芸の形成と理論:産業と表現」金子 賢治
- ・研究発表
  - 日本の現代陶芸「萩焼:アンチスタンダード」 石崎 泰之
  - アジアの現代陶芸「アジア現代陶芸—新世代の交感展の十年」 大長 智広
  - 西洋の現代陶芸①「芸術×陶芸 により新しい時代の陶芸へ西洋～日本」 三浦 弘子
- ・見学:茨城県陶芸美術館特別展「没後五十年板谷波山展」

10月20日(日)午前10時15分より発表

- ・研究発表
  - 茨城の陶芸① 作家自作を語る 寺本 守
  - 茨城の陶芸② 作家自作を語る 松井 康陽
  - 茨城の陶芸③ 作家自作を語る 浜岡 満明
- (昼食)
- 日本の産業陶磁「モザイクタイルに関する考察」 村山 閑
- 茨城の陶芸④「笠間焼の歴史・震災と笠間焼」 久野 亘央
- 茨城の陶芸⑤「板谷波山と里中英人」 花井 久穂
- 西洋の現代陶芸②「イタリア的な陶造形のすすめ」 唐澤 昌宏

\*見学会:茨城県陶芸美術館「没後 50 年板谷波山展」、映画「HAZAN」ロケセット(自宅兼工房、窯:美術館に移築)

## 研究会

平成 25 年度第 1 回研究会

4 月 7 日(土) 2:00 pm 石洞美術館

林 克彦(石洞美術館) 「古染付に関する二・三の問題—石洞美術館収蔵品の検討から—」

\*研究会終了後、石洞美術館「マイセン」展の見学会

平成 25 年度第 2 回研究会

5 月 25 日(土) 1:30 pm 九州国立博物館 共催:九州国立博物館

テーマ:九州国立博物館開催中の「古武雄展」(文化交流展示)「大ベトナム展」(特別展)にあわせ、九州陶磁やベトナム陶磁に関するテーマ

東中川忠美(吉野ヶ里公園管理センター) 「【古武雄】について—窯跡ごとの特色—」

弓場紀知(兵庫陶芸美術館) 「エジプト・フスタート遺跡出土のベトナム陶磁について」

家田淳一(佐賀県立九州陶磁文化館) 「韓国で発見の肥前磁器」

酒井田千明(九州国立博物館) 「欧州に伝世する伊万里・染付磁器と清朝青花磁器について」

遠藤啓介(九州国立博物館) 「資料紹介:江戸後期における天草陶石の紅毛渡し上田家文書について」

平成 25 年度第 3 回研究会

7 月 27 日(土) 1:30 pm 青山学院大学 15 号館

三笠景子(東京国立博物館) 「日・英における越窯研究—大英博物館所蔵品調査報告より」

平成 25 年度東洋陶磁学会後援事業

国際シンポジウム「パシフィック・フロッシング—白山谷喜太郎と日米文化交流」

*Pacific Crossing : Kitaro Shirayamadani and the U.S.-Japan Cultural Relationship*

・日 時:平成 25 年 11 月 23 日(土・祝)・24 日(日)

・会 場:金沢 21 世紀美術館 シアター21(石川県金沢市広坂 1-2-1 TEL:076-220-2800)

・主 催:金沢美術工芸大学、金沢 21 世紀美術館

・助 成:吉野石膏美術振興財団

・後 援:近代国際陶磁研究会、ジャポニスム学会、東洋陶磁学会、明治美術学会

平成 25 年度第 4 回研究会

平成 25 年 11 月 30 日(土) 午後 1:30~

下村菜穂子(筑波大学大学院) 「備前焼花入—16 世紀後半を中心に—」

平成 25 年度東洋陶磁学会後援事業

李乗昌博士記念公開講座「高麗白磁の世界—最新の研究成果から」

・日 時:平成 26 年 1 月 18 日(土)12:30~17:00

・会 場:大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂(大阪市北区中之島 1-1-26)

・主 催:大阪市立東洋陶磁美術館、(公財)大阪市博物館協会

・後援: 駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院、東洋陶磁学会

・演題・発表者

「高麗前期の白磁の製作と特徴」 田勝昌氏(韓国アモレパシフィック博物館・館長)

「高麗中後期の白磁について」 韓貞華氏(韓国扶安青磁博物館・学芸研究士)

「河北の白瓷窯址—邢窯、定窯、井陘窯」 黄信氏(中国河北省文物研究所・科技信息部主任)

平成 25 年度第 5 回研究会

平成 26 年 2 月 22 日(土) 午後 1:30～ 三井記念美術館 7F レクチャールーム

吉良文男 「体感的‘韓国陶磁史研究事情’—1970 年代を中心に—」

### 学会誌

第 43 号:平成 26 年 3 月 31 日発行「長崎の近世陶磁器の新たな調査成果」(第 40 回大会発表を中心に)

### 会報

第 79 号:平成 25 年 7 月 3 日 発行(総会編) 第 80 号:平成 25 年 11 月 5 日 発行(考古編)

### 常任委員会

第 1 回:平成 25 年 4 月 27 日 於出光美術館 第 2 回:平成 25 年 6 月 1 日 於根津美術館 第 3 回:平成 25 年 10 月 19 日 於茨城県陶芸美術館 第 4 回:平成 26 年 3 月 8 日 於出光美術館

編集委員会:メールで

### 学会改革:

学会誌投稿締切 5/10 に変更、研究会応募締切 1 月末日に変更 会員拡充:新入会員 14 名(退会者 34 名、住所不明者 2 名)

### その他:

学会誌バックナンバー配布 日時 平成 24 年 5 月 26 日(土)午後 1 時～